



能登半島地震で被災された皆様、また衣川台にもそのご親族あるいはお知り合いが居られると思います。心よりお見舞い申し上げます。

衣川台も、南海トラフ地震(4年前の予測で、マグニチュード 8~9 クラスの地震の 30 年以内の発生確率が 70~80%)がひとたび発生すると、被災は免れません。

自らの命を守るため、災害に備えた対応(備蓄、家具の転倒防止、耐震構造強化など)を心がけましょう。

今回は、被災時の避難準備について、ご家族みんなで考えてみたいと思います。

特集：家族でいっしょに学ぶ自主防災－1

ひなん ひなんじょ せいかつ そのな じゅんぴ 避難や避難所での生活に備えた準備

おおあめ たいふう ちか ひなん ひつよう あんぜん ばしよ ひなん じぜん じゅんぴ
大雨や台風が近づいて、避難が必要なとき、すぐに安全な場所に避難できるよう事前の準備が大切です。

みんなは、「ハザードマップ」を知っていますか。「ハザードマップ」には、みんなが住んでいる地域や学校の
まわ おおあめ たいふう しぜんさいがい お ばしよ ふか
の周りで大雨や台風などといった自然災害が起きたときに、たとえば、どの場所が、どのくらいの深さまで
みず きけん ひなん ばしよ じょうほう ちずじょう
水につかってしまう危険があるかや、避難できる場所がどこにあるのか、などの情報が地図上にまとめら
れていて、自分の家や学校の周りだけでなく、みんながいつも使っている遊び場や通っている道が災害
じぶん いえ がっこう まわ つか あそ ぼ かよ みち さいがい
のときに安全かどうか、「ハザードマップ」で確認できます。

ねん にしにほんごうう けいけん こ じゅんぴ
2018年に西日本豪雨を経験した子どもからは「いつ、どんなことがおこるかわからないからきちんと準備
たいせつ とき ひなん ばしよ はな こえ
をしておくことが大切。もしもの時のために、避難する場所をきちんと話しておく。」という声がありました。
ふだん はざーどまっぷ つか じぶん いえ がっこう まわ きけん しら
ぜひ、普段から「ハザードマップ」を使って、自分の家や学校の周りにはどのような危険があるのか調べたり、
しぜんさいがい お ひなん ばしよ みち かくにん
自然災害が起きたときに避難する場所までの道を確認しておいてください。

ひなん
そして、避難するときに持っていく「非常用持ち出し袋」を自分で準備しておくことも大切です。
ひなんじょ あそ べんきょう ぶんぼうぐ ばしよ ひなんじょ
避難所では、遊んだり勉強したりするための文房具やおもちゃ、場所などが無いこともあります。避難所に
い た もの の もの きが にちじょう つか いっしょ ぶんぼうぐ
行くときには、食べ物や飲み物、着替えなど日常で使うものと一緒に、ぬいぐるみやトランプ、文房具など、
ちい あそ どうぐ ほん まんが つか もうふ も ひなんじょ あんしん す
小さめの遊び道具や本、漫画、いつも使っている毛布なども持っていかると、避難所でも安心して過ごすこと
ねん ひがしにほんだいしんさい ひなんせいかつ けいけん ひと ひなんじょ いそが たいくつ
ができます。2011年の東日本大震災で避難生活を経験した人からは「避難所ではみんな忙しく、退屈な
ときトランプで遊んだ」という声がありました。次ページに 非常用持ち出し袋 チェックリストがあります
ので参考にしてください。

子どもにやさしい非常用持ち出し袋チェックリスト

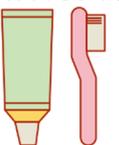
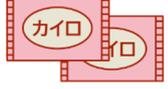
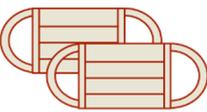
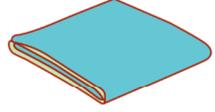
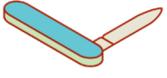
避難生活に必要なもの(非常用持ち出し品)をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

動画は
こちら



ここで紹介するのは、非常用持ち出し袋の一例です。子どもの年齢などにあわせて、必要なアイテムを加えてください。

<https://youtu.be/-igLo15BZGs>

1 みず 水 	2 ひじょうしょく 非常食、 おかし 	3 タオル 	4 きが 着替え 
5 こうくう 口腔ケア (はみがきセットなど) 	6 レインコート 	7 カイロ 	8 マスク 
9 きゅうきゅうようひん 救急用品、 じょうびやく 常備薬 	10 ウェットティッシュ &除菌ジェル 	11 ぶくろ ポリ袋 	12 きゅうすいぶくろ 給水袋 
13 かいちゅうでんとう 懐中電灯、 ヘッドライト 	14 ラジオ 	15 でんち じゅうでんき 電池、充電器 	16 マッチ、ろうそく ランタン 
17 くんて かわぐんて 軍手、皮手袋 	18 しんぶんし 新聞紙 	19 ガムテープ ゆせい &油性ペン 	20 レジャーシート 
21 ばんのう 万能ナイフ 	22 きちょうひん 貴重品 	23 ほん 本や カードゲーム 	24 あんしん 安心できる たいせつ 大切なもの 

ないかくふほうさいいようほう

わがしにほんだいしんさいがくどうほいくしどういんきろくしゅう

さんしやう

(セーブ・ザ・チルドレンのホームページより一部転載)

11月12日（日） 第2回防災訓練<避難訓練>、学区防災訓練を終えて

1. 避難訓練



ご参加ありがとうございます



名簿の字が小さすぎた？

<概要>

一時避難場所の南公園に集まった(80名)あと、通学ルートを経由して避難場所である里東小グランドまで避難訓練を行いました(63名)。

<受付・名簿記入>

消火班の藤岡さん(8組)、西村さん(14組)の誘導のもと、受付に移動し、情報班で用意した組別名簿に氏名を記入していただきました。集計作業と同時に、要援護者の確認も併せて行いました。そして給食給水班による飲み物配布のあとは、所定の位置に整列を促しました。また写真撮影役は、情報班の半田さん(3組)が担いました。

<避難ルート>

衣川台には3つの避難ルートがあります。明神橋手前を経由する北ルート(3km)、梅宮神社前を経由する南ルート(2km)、そして通学路ルート(1km)です。避難誘導班による安全確認のあと決定しますが、10年かがりて2015年7月に開通になった最短の通学路ルートを第一優先に想定しています。

<避難時の班編成>

避難のとき、7つの班を編成します。部長(自治会長の一柳さん(10組))を班長とする1班、救出救護班の2班、15の組を4つに分けて2~6班、そして、統括班長(事務局長の堀内さん(2組))を班長とする7班です。交通整理も兼ねて、先頭、真ん中、うしろと、避難誘導班が担当しました。前田(9組)、三村さん(4A組)、吉田勝さん(14組)、長久さん(14組)、副班長の小島さん(12組)です。南公園と里東小学校との通信・連絡は、避難誘導班の山川さん(7組)と統括班の有田さん(1組)が担いました。

<避難行動>

衣川台自主防災部の青い旗を掲げた部長を先頭に、救出救護班によるリヤカー、車椅子、続いて組旗を掲げた組長さんが住民を伴って2列になり、最後列は統括班長・アドバイザー

の皆さんが移動しました。9:20に開始して、9:45に到着し、各組長さんが避難人数を確認しました。結果を情報班長の井内さん(15組)経由で部長が本部に報告しました。



結構長い列になります





人数確認へのご協力ありがとうございます



これは、想像以上にシンドイ

2. 学区防災訓練

<概要>

学区として4年ぶり、里東と里の二つのブロックが一年おきに行うようになったので、里東の衣川台としては5年ぶりでした。

給食給水班長の木下さん(14組)が応急給食訓練にあたる一方で、開会宣言のあと 12の自治会が3組に分かれて、約25分ずつ 学習・体験・見学の3種類の訓練をローテーションしました(総数 255名)。

<学習の内容>

AEDの取扱い説明を北署から受けました。胸骨圧迫の模擬演習では、1分間に100回のテンポで行うよう指導されました。このテンポが重要で、疲れてきたら交代するように助言されました。救命救急に携わっておられる消防署の皆さんのご苦勞が伝わってきました。

<体験の内容>

・竹竿の有り無しでの簡易担架、3人、二人、1人での搬送指導を北署から受けました。

・水消火器を用いて、実際の火災を想定したガスコンロ火災の初期消火訓練を行いました。3名ずつ第一陣、第二陣が加わって、ようやく消火という結果でした。消火器本体を火元に投げ入れた事例を紹介され、「これでは消火になりません」と。

・放水体験。私たち素人には実用的ではありませんが、二名ずつ順番に北署指導のもとに行いました。

・起震車体験。希望者参加でしたが、体験する方はあまり見られませんでした。

<見学の内容>

仰木の里消防分団による消火活動演技を見学しました。

<応急給食試食>

学区の給食給水部が、前日の準備、当日と応急給食訓練を行いました。閉会式のあと、参加者全員に豚汁と備蓄のビスケットが配られ、試食しました。



何事も経験ですね

3. その他

今回の訓練前後に、安否確認や黄色い安全確認旗の掲示について、皆さんから質問、問い合わせなどありました。衣川台として 避難場所(里東小グランド)での総合防災訓練に参加する(9:50までに到着する)ときは、時間の都合で、安否確認活動を省いて、一時避難場所に参集後の避難誘導に特化してきました。

以上